

課題情報シート

課題名：	赤瓦を広めよう！		
施設名：	沖縄職業能力開発大学校		
課程名：	専門課程	訓練科名：	ホテルビジネス科
課題の区分：	総合制作実習課題	課題の形態：	制作

課題の制作・開発目的

(1) 課題実習の前提となる科目または知識、技能・技術

ホスピタリティマーケティング論、観光論、観光・文化論、商品企画実習、企画演出実習、セールスプロモーション実習

(2) 課題に取り組む推奨段階

商品企画実習終了後

(3) 課題によって養成する知識、技能・技術

商品企画に関する知識、景観材料としての瓦に関する知識、沖縄の伝統文化に関する知識、プレゼンテーション技法等

(4) 課題実習の時間と人数

人数：2人

時間：216h

沖縄の赤瓦は景観材料として知られています。しかし、近年の景気悪化による建築不況や若年層の好みの変化、安価な外国産の瓦の登場などの影響で沖縄の赤瓦が市場に出回らなくなり、赤瓦をつくる工場は少なくなってきたのが現状です。減少しつつある沖縄の赤瓦を途絶えさせないために、そして赤瓦を普及させるために、日常生活で使える手ごろな新商品の開発をすることにしました。

課題の成果概要

赤瓦の性質としては、断熱性、通気性、耐久性などに優れています。また、吸収性もあり、気温の低い本土では、吸収した水が凍って膨張し、ひび割れの原因となってしまうので、本土では

屋外の使用には適していません。暖かい沖縄に最適な瓦です。

赤瓦の良さを広めるために、キャンドルホルダーと消臭剤入れを作成しようと考えました。市販のキャンドルホルダーはガラス製品が多く、火を灯し時間がたつと周りが熱くなり、触れると火傷の危険性があります。そこで赤瓦の断熱性を活かし、熱くなりやすく、また放熱性のあるキャンドルホルダーと通気性を活かした消臭剤入れを作成しました。

表 1. 赤瓦の性質

瓦の種類	耐久性*	吸水率
赤瓦 (女) 	1192N	11.4%
赤瓦 (男) 	2524N	11.4%
スペイン瓦 	1500N	8.8%
J I S 規格 A5028	1500N以上	12%以下

* 耐久性：曲げ破壊荷重テスト



図 1. キャンドルフォルダ



図 2. 消臭剤入れ

課題制作・開発の訓練ポイントおよび所見

今回、学生は最近沖縄では景観材料としては見かけられなくなった赤瓦を総合制作実習の課題として取り上げました。

赤瓦に係る歴史的な発展の経緯から、その特性分析、マーケティングまで行い、商品企画に必要な基本的な取り組みは一通り実践できたと思います。また、この課題は九州ポリテックビジョンへのパネル展示作品として展示されました。

実際の開発に関しては、時間的な制限からもっと多くの商品サンプルが作成できたらなおよかったと思います。また、赤瓦の認知に関する調査は313件行いましたが、作成したキャンドルホルダーと消臭剤入れについての評価（アンケート）はできませんでした。実際の商品化にあたっては競合商品との定性的または定量的な性能比較も必要だと思います。

養成する能力 (知識、技能・技術)	課題制作・開発のポイント	訓練（指導）ポイント
○情報収集	◇赤瓦の歴史的発展経緯、赤瓦の特性調査	●文献、インターネット等の資料収集だけでなく、実際に施工現場や工場見学等を行い見聞を深めます。
○マーケティング	◇消費者ニーズの把握、セグメンテーション、競合製品	●マーケティングの基本原理に則り、商品企画・開発に必要なコンセプトを設定します。
○商品企画・開発	◇デザイン、コスト、機能性等	●商品をデザイン、試作し、その特性を検討し、商品化につなげます。

課題に関する問い合わせ先

施設名 : 沖縄職業能力開発大学校
住所 : 〒904-2141
 沖縄県沖縄市池原 2994-2
電話番号 : 098-934-6282 (代表)
施設 Web アドレス : http://www.ehdo.go.jp/okinawa/index_pid_28.html